

市では、平成16年に英語教育特区の認定を受けてから今に至るまで英語教育に力を入れてきました。新学習指導要領で英語教育が大きく変わりますが、児童が無理なくスムーズに対応できるように、国の取り組みを先取りした英語学習に取り組んでいます。

# のぞいてみました！英語の授業



おでこに書かれた生き物は何か？英語で行ってみよう！

## 小学校3、4年生から英語学習をスタート!!

全国では、平成32年度には小学校で、33年度には中学校で、新学習指導要領に基づく英語教育が全面実施されます。現在5、6年生で週1時間行われている外国語活動は、3、4年生におりてきます。5、6年生では新たに外国語が教科となります。市では、英語教育における新学習指導要領の円滑な実施に向けた移行措置として平成30年度から3年生以上で文科省の新教材を活用した外国語活動を実施しています。今回の特集では、市内の小学校のいろいろな学年の英語の授業をのぞいてみます。

### 歌やダンス、ゲームから「聞く」「話す」楽しさを育む

チャイムがなると楽しい音楽が流れ、「ハロー！スマイル！」児童は元気に歌って踊って授業が始まります。3、4年生の「外国語活動」では、教師の英語の指示を聞きながら体を動かしたり、歌やゲームなどのアクティビティを行いながら、「コミュニケーションを図る上で必要な「聞く」「話す」という能力を育みます。

この日の授業では、AET(英語指導助手)のヒントを元に、これまで慣れ親しんだ英語表現を用いてクイズやゲームに取り組んでいました。正解不正解に関わらず大変盛り上がり、英語の授業を楽しんでいました。

外国人を見かけたら、「ハロー」って話しかけちゃいます！



小学3年生 宮城 めいさん



みんなで話し合って答えを探そう！



授業の開始は楽しい歌とダンスから

### 小学校から中学校へとつながる英語教育

中学校の英語学習にスムーズにながっていくために、中学校の教師による出前授業を行っています。出前授業では、小学校ですでに学んだ内容について取り上げながら、中学校での学習方法を教えていくことで、児童の学習意欲の向上と小学校から中学校へ入学した際の学習環境の不安解消を目指します。



グループで協力しながら、カードに描かれた絵を英語で書きます。



教科書を見本に将来の夢を英語で書いてみよう！



小学6年生 新垣 哲平さん

英語の発音練習がとっても楽しい！

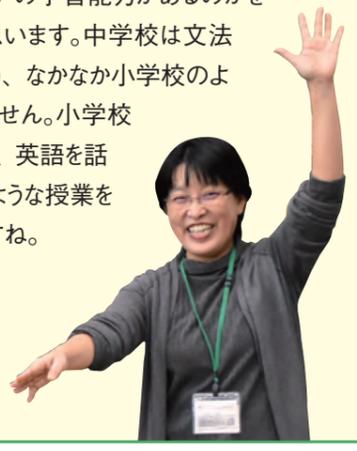
## 間違ってもいい！日常生活の中から「読む」「書く」楽しさを学ぶ。

5、6年生の「英語」は3、4年生の「外国語活動」と中学校の英語の橋渡しの役割があります。「聞く」「話す」活動を中心に「読む」「書く」にも慣れ親しみます。ただし、現在中学校で学んでいる内容の前倒しというわけではありません。文法や単語を確実に習得させたりすることは求めず、児童が自ら英語のルールに気付けるような授業を目指します。

授業では将来の夢を紹介しよう(My Dream)を題材に、教科書の例文を見本に自分の夢を英語で書き発表しました。児童は間違っても恥ずかしがらずに積極的に発表を行っていました。

### 小中連携出前授業

一緒に授業をすることで、小学校の児童が中学校へ上がって来たときに顔見知りの教師がいることで安心して授業を受けられるような環境づくりができる事が1番ですね。また、現時点でどれくらいの学習能力があるのかを見れるのもメリットだと思います。中学校は文法や筆記が中心となるため、なかなか小学校のような楽しい授業ができません。小学校では、低学年のうちから、英語を話すことが楽しいと思えるような授業をどんどんやってほしいですね。



仲西中学校 英語科教諭 カルフーン 優子 先生



### 英語にふれよう！英語関連イベント

**シェイとおそぼろ**  
浦添市の国際交流員シェイと子どもたちと交流会



場所 浦添市内の児童センター  
日程 児童センターだよりをご覧ください。  
問 各児童センター

**キッズイングリッシュ上映会**  
英語音声、日本語字幕での映画上映会



場所 浦添市立図書館 2階視聴覚室  
日程 偶数月第2日曜日  
問 浦添市立図書館 ☎(876)4946

**英語おはなし会**  
浦添市国際交流員等による英語での読み聞かせ



場所 浦添市立図書館 かたりのへや  
日程 毎月第2火曜日  
問 浦添市立図書館 ☎(876)4946

### 予測困難な社会を生き抜くために

国際的に活躍できる人材が評価される時代、英語やプログラミングなどの専門知識の習得はこれからの社会に必要な能力です。その力を生かすためには、「お互いを認め合う力」もまた必要となってきます。様々な国や地域について学ぶ事を通じて、文化や考え方の多様性を理解し、様々な人々と協働していく力が求められます。2020年の教育改革は、そういった力を育むことを目標にしており、子ども達が楽しく豊かな生活を送るためには、学校のみならず保護者、地域の人々ができることを、それぞれの立場で取り組んでいくことが大事なのかもしれません。

※詳しくは広報うらとえ「ちむどん施設情報」でお知らせします。